

海のいのち 立松 和平

めあて

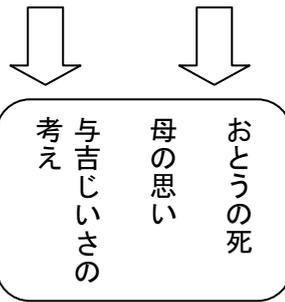
太一の成長した姿から登場人物の役割と、「海のいのち」の主題を考えよう。

子供…元気でやさしい子供たち

母…おだやかで満ち足りた、美しいおばあちゃん

太一…村一番の漁師であり続けた

千びきに一びきしかとらない



「海のいのち」の主題

ここでは、主題を考えることがまだ十分でない子どもたちを集めて、キーワード探しまでの流れを一緒に行うことが考えられます。

大切だと思う言葉や文

- ・父もその父も、その先ずっと顔も知らない父親が住んでいた海に、太一もまた住んでいた。
- ・海のみぐみ
- ・千びきに一びき
- ・この海で生きていける。
- ・おかげさまでぼくも海で生きられます。
- ・とうとう父の海にやってきたのだ。
- ・数限りなく魚を殺してきた
- ・本当の一人前の漁師
- ・大魚はこの海のいのちだと思えた。
- ・村一番の漁師であり続けた。
- ・海のいのちは全く変わらない。

主題のキーワード



6/11 時間目 指導略案

使用するワークシート…⑥

活動のねらい

他の登場人物の存在が太一の成長に大きくかわっていることをとらえ、「海のいのち」の主題を考えることができるようにする。

1 本時の見通しをもつ。

- めあてを知り、太一の成長がどの登場人物に大きく影響されているのかを考え、その後に、「海のいのち」の主題について考えることを確認する。

2 本文八十二ページ四行目から最後まで（「結」の部分）を読み、太一の成長した姿や漁師としての考え方が、どの登場人物の影響を受けたのかを考える。

- ① 本文を読み、太一の生き方がどのように変わったかを読み取る。
 - ② 太一の生き方の変化は、他の登場人物のどのような部分に影響を受けたのか考える。
- 【発問】太一の成長は他の登場人物のどのような部分に影響を受けていると思いますか。
- 各場面の登場人物の言動を振り返らせ、自分なりに影響を受けていると考えられる部分をワークシートに書かせる。
 - ③ 考えたことを発表する。
 - 登場人物の存在が太一の成長に大きくかわっていることに気付かせるようにする。

3 「海のいのち」の主題を考える。

- ① 自分が大切だと思う言葉や文を選び出す。
- 大切だと思う言葉や文を抜き出させたり、自分なりに感じている主題のキーワード（「海」、「いのち」など）にかかわる言葉や文を探させたりする。
- ② 選んだ言葉や文を根拠に主題を考える。
- ポスターに書き込むことを前提に、「遠い昔から受けつがれてきた海」「つながるいのち」など体言止めで作品の主題に合うように考えさせる。
- ③ 少人数のグループで、考えを交流する。
- 自分の考えた主題とその根拠などを明確にしながら発表させる。聞き手は自分の考えと比べながら聞かせるようにし、全員終了後に感想を交流させる。

4 学習を振り返り、自己評価をする。

4 学習を振り返り、自己評価をする。

評価 「海のいのち」の主題について、自分なりに根拠をもって考えることができる。